

大阪国際サイエンスクラブ 特別懇談会
(令和 7 年度 第4回シンビオ社会研究会講演会)

International
Science Club
of Osaka



「再生可能エネルギーの最新動向と課題」

主催：NPO 法人 シンビオ社会研究会
共催：京都大学エネルギー理工学研究所（予定）
京都大学大学院エネルギー科学研究科（予定）
大阪国際サイエンスクラブ
有機太陽電池コンソーシアム（予定）、関西原子力懇談会（予定）
協賛：日本保全学会西日本支部（予定）

2050 年のカーボンニュートラル社会の実現に向け、再生可能エネルギーは脱炭素化の中核を担うエネルギー源として導入が進められています。一方で、出力の変動性や系統制約、コスト、立地条件、資源・環境影響、経済性、社会受容性など、多面的かつ構造的な課題も顕在化しています。これらの課題は、個別技術の高度化にとどまらず、エネルギーシステム全体の最適化や社会制度との整合を含めた総合的な検討を必要とします。

本講演会では、当会顧問である地球環境産業技術研究機構 秋元圭吾氏およびエネルギー総合工学研究所 寺井隆幸氏の 2 名の識者をお招きし、再生可能エネルギーに関する最新の技術動向を俯瞰するとともに、国内外の政策動向および研究開発の現状を踏まえ、今後のエネルギーシステムの方向性とその展望について議論します。本講演会を通じて、再生可能エネルギーの今後の進展を検討するうえでの課題とその対応に関する理解が深まることを期待します。

是非、皆様のご参加をお待ちしています。

記

日 時：2026年2月13日（金）15:00～17:30（開場14:45）

場 所：京都大学宇治キャンパス 本館 N 棟 5 階エネルギー理工学研究所本館会議室(N-571E)
および ZOOM によるハイブリッド形式

JR 奈良線「黄檗」駅下車徒歩 7 分、または京阪電鉄宇治線「黄檗」駅下車徒歩 10 分

アクセスマップ <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus#uji>

構内マップ <https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r-uji>

講 師：①「バイオエネルギーの課題と展望」

秋元 圭吾 氏（公益財団法人地球環境産業技術研究機構（RITE）

システム研究グループ グループリーダー・主席研究員）

②変動性再生可能エネルギーの大量導入にかかわる問題点とその対策に関する将来展望

寺井 隆幸 氏（一般財団法人エネルギー総合工学研究所 理事長）

<プログラム詳細並びに講師ご略歴等は、添付資料をご参照ください>

参 加 費：無 料

申込方法：次ページをご参照下さい。

~~令和7年度 第 4 回シンビオ社会研究会講演会の参加申し込み~~
(締め切り: 2 月 10 日 (金) 17 時)

以下のフォームに、「講演会参加(現地または Web)」「氏名」「所属」「メールアドレス」「電話番号」「所属団体*」をご記入のうえ、お申し込みください。

【回答(Google フォーム)】

<https://forms.gle/77RfEmiQWUMS3sk96>

*所属団体については、「シンビオ社会研究会」「京都大学エネルギー理工学研究所」「京都大学エネルギー科学研究科」「大阪国際サイエンスクラブ」「有機太陽電池コンソーシアム」「関西原子力懇談会」「日本保全学会西日本支部」「その他」の中からひとつまたは複数をチェックしてください。

★ZOOM参加の方へ

2 月 12 日(木)までに ZOOM の招待案内のメールをお知らせする予定です。2 月 12 日(木)になっても連絡のないときはシンビオ社会研究会事務局または大阪国際サイエンスクラブまでお問い合わせください。

★問い合わせ先

特定非営利活動法人シンビオ社会研究会(担当:石井、高塚)

e-mail : symbionpo@gmail.com

大阪国際サイエンスクラブ(担当:堀内、吉岡)

Tel : 06-6441-0458

e-mail : science@isco.gr.jp

1. 開会の辞：吉川 暹 会長（15:00-15:05）

2. 講演Ⅰ（15:05-15:55）

司会：吉川 暹 会長

演題：「バイオエネルギーの課題と展望」

講師：秋元 圭吾 氏（公益財団法人地球環境産業技術研究機構（RITE）

システム研究グループ グループリーダー・主席研究員）

【プロフィール】：専門はエネルギー・地球環境を中心としたシステム、政策の分析・評価。東京科学大学総合研究院特任教授兼務。国連気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第5～7次評価報告書代表執筆者。総合資源エネルギー調査会基本政策分科会委員、調達価格等算定委員会委員（委員長）など政府の委員会委員も多数務める。

【講演概要】

水素等のコスト上昇に伴い、水素や水素系エネルギーの商業化のペースは少し緩まってきており、かわりに短期的にはバイオガスやバイオ燃料への期待が高まっている。他方、バイオエネルギーの価格も上昇傾向にはあり、バイオマス発電を含め、バイオエネルギーの今後の展望と課題について議論する。

3. 講演2.（15:55-16:45）

司会：吉川 暹 会長

演題：『変動性再生可能エネルギーの大量導入にかかわる問題点とその対策に関する将来展望』

講師：寺井 隆幸 氏（一般財団法人エネルギー総合工学研究所 理事長）

【プロフィール】専門は原子力工学・核融合炉工学、環境・エネルギー材料の物理化学、粒子線照射やプラズマによる材料の物性制御と新機能創出、カーボンニュートラルの科学。東京大学大学院工学系研究科教授（システム量子工学専攻）、大学院工学系研究科総合研究機構長などを経て、2020年3月東京大学定年退職。2020年8月より現職。東京大学名誉教授。兵庫県神戸市生まれ。

【講演概要】

太陽光、風力などの変動性再生可能エネルギーの大量導入にかかわる電力系統での問題点（送電容量の確保・調整力の確保・出力制御など）とその対策について、蓄電も含めた電力システム内での対策や蓄エネルギー（水素キャリアー・蓄熱など）などの研究開発の現状と将来展望について述べる。

~~~~~休憩 10分~~~~~

4. 総合討論（16:55-17:25）

司会：吉川 暹 会長

5. 閉会の辞 塩路 昌宏 副会長（17:25-17:30）